

つなぐ

夏号

NPO法人 **はーと in はんず**
Heart♥Hands



猛暑と豪雨、そしてコロナウイルスの更なる猛威。会員の皆様、健やかに過ごしてはいかがでしょうか。お見舞い申し上げます。

さて、昨年よりも酷い状況の中、7月3日にオンラインという形を余儀なくされた「はーと in はんず定期総会」を無事終えることが出来ました。書面決議となった訳ですが、会計・事業報告、活動予算案も含め全て、可決いたしました。この場をお借りして報告と皆様への感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今年で主人が亡くなり7年となります。この間、自由を得、不自由さを得、何事も表裏一体であることを突き付けられました。悲しみの中に身を置き、嘆き続けることはどうも性に合わないらしく、はーと in はんずを立ち上げ、仕事を精一杯こなす中で生きている喜びを感じるようになりました。仕事に逃げているかもしれない。でも「私は生ききる！」と思えた時、亡き主人や支えてくださっている方々への感謝が湧いてきました。感謝が湧くと、不思議と心が豊かになり、私には家があり、今日食べるものがあるじゃない。先日は、ブラウスを2枚買い、何て私は幸せなんだろう。と思えました。幸せを発見するという事は、それなりの努力が必要かもしれませんが、その努力はした方がよいというのが「生ききる」ための技と思えるのです。迎え火を焚いているとき、一筋の涼風が私の頬を撫でました。「あっ、主人かもしれない。」「おかえりなさい。」と呟き、とても幸せな気分になりました。「にわか雨がくるのかなあ。」と思うより、ずっと幸福感を味わえると思うのです。

まだまだ止まない猛暑やコロナ禍ではありますが、風鈴の音色や夕焼け、ご飯の炊ける香り等々、どうぞ幸せを発見して頂き、それを言葉にして発してもらえたら、きっと周りも和むことと信じております。

理事長 倉橋知子

活動報告

- ・毎月オンラインにて理事会開催
- ・2022/7/3 定期総会開催
- ◆2022/9/18 14:00～ オンラインヨガ講座
- ◆2022/10月以降 藤枝ハルモニア様にて「身だしなみ教室」開催予定

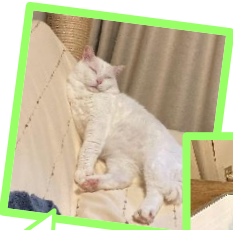
※一般社団法人日本エステティック協会創立50周年記念式典において、倉橋理事長が新名誉会員及び永年会員として表彰されました。

捕獲器の中で



会員様の素敵な活動のご紹介です。 久保田仁美様

ぺんぺんは去年10月1日に近くの公園でTNR(※)の相談があったので、捕獲して動物病院で去勢手術をしてもらったオス猫です。本来捕獲した場所でリターンする予定でしたが、右前脚を骨折していることが分かり、リターンは危険と判断してわが家に迎えることにしました。粉々になっていた指の骨の炎症と化膿が進み、今年5月に断脚手術を受けました。注射とガスで全身麻酔をかけ、肩の骨から右前脚と2か所のリンパ節を摘出したので、縫い跡は大きなT字型になりました。麻酔が覚めるとその日のうちに帰宅。三本脚に慣れず机の端を歩いて落ちそうになったのは最初だけで、2週間後の抜糸の後は、これまで通り自分の体の倍ほどの高さのカウンターに飛び乗りフードを食べ、猫トイレに入って用を足します。捕獲した当時は臭くて薄汚れた年齢不詳の大人猫でしたが、家の中で暮らして11か月たった今、真っ白でフワフワの甘えん坊猫になりました。8歳の柴犬と5歳の先住猫とは互いの棲み分けができ、ケンカをするようなトラブルもありません。野良猫でも飼い主が見つければ、人馴れした飼い猫になる可能性が高いです。猫を飼いたいと思ったら、ペットショップで買うのではなく、地域猫を保護することも選択肢に入れていただけたら嬉しいです。



くつろぎ中♡

(※)TNRとは、Trap(捕獲)Neuter(避妊去勢手術)Return(元の場所に戻す)の頭文字で、現状では飼い主のいない猫を減らす唯一の方法として全国に広がっています。

陽だまりの丘より Vol.2 エレベーターが開くと謎のミントの香りが…

*個人情報保護より病名等は配慮させていただきます。想像力を膨らませお読みいただけましたら幸いです。

その女性は喜怒哀楽が激しく、看護師が処置をするにも、ワーカーさんがケアをするにも、大きな声で「何をするんだ〜(怒)」と叫ぶことが日常で、それだけでなく自身のお尻を触ってしまう不潔行為も頻回にありました。気分転換に何かできないものかとカンファレンスで話し合い、ソシオエスティック介入に至りました。まず、集団リハビリテーションの際に(グループワーク)歌を歌ってみたところ、彼女は上機嫌で、手を高く上げてひらひらと踊りだしました。一緒になって歌い手拍子をしたりと、気持ちよさそうに過ごされました。“しめしめこれはいける”と内心思い、個別ケアの際にも歌を歌い、上機嫌になった後にフェイシャルやネイル、お化粧品といったことを取り入れていきました。不思議なことに何一つ拒否した施術はなく、お化粧品に至っては仕上がり後に鏡で確認してもらおうと、飽くことなくうっとりとして眺める姿が見られていました。不潔行為のためにほぼ毎日ワーカーさんが手浴をしてくれていたのですが、ネイルアートをするようになると何故か触る回数が減っていききました。指が細く爪がきれいな女性でしたので、ネイルがとても似合っていて、周りのスタッフからの誉め言葉が魔法と化したのかもしれない。

いつものように彼女のもとへとエレベーターに乗り、扉が開くとミントの良い香りが！部屋に近づくにつれ香りは強くなっていきます。「こんにちはー」挨拶する私を迎えてくれたのは、歯磨き剤で顔にパックした笑顔の彼女！！手も歯磨き剤でべとべと…大慌てで看護師長に報告し、手浴して洗顔して本物のパックをしないと、平静を装い行ったものの内心は大笑い！



さて、これは問題行為なのでしょうか？？私としては“おしゃれをしたい”と自分に関心を持たたと推察されるので、大変嬉しい出来事と考えています。

次号は「陽だまりの丘への想い」どうぞお楽しみに！

編集後記



行動制限のない中コロナ感染拡大、世界各地での異常気象による被害、一触即発状態の世界情勢、日常生活では全てのものの価格高騰…明るい話題がないですね〜。でも皆様とこうして繋がっていただけることの幸せを感じ過ぎたいと思います。石丸

残暑お見舞い申し上げます。暑さにもコロナにも負けず過ごしております。皆様もご自愛下さいませ。中村